

# アルツハイマー病を撃退！ 脳を守る研究 講演会

(研究交流クラブ 第229回定例会)

参加費無料

ハイブリッド開催

## ハブ毒の活用/VRの活用で認知症を撃退する

日本は超高齢化社会が進んでおり、伴い高齢化による体の変化について研究が進んでいます。高齢化の症状として最も顕著なものとして、認知症があり65歳以上の日本人の1/7は認知症とされています。そして認知症の多くを占めるのはアルツハイマー病です。

ここ数年で、アルツハイマー病の原因物質とされる脳内のアミロイドβの生成やタウの蓄積に関する研究が進んできました。今回の定例会では、①ハブ毒から抽出したタンパク質分解酵素がアミロイドβを分解すること、②VRを活用したアルツハイマー病の超早期発見について講演を行います。

開催日時

2024年  
2月16日 (金) 14:00 ~ 16:20

開催方法

リアル開催+ZOOM開催 (ハイブリッド開催)

対象

1. 認知症発症機構の研究に関心があり、知見を得たい方
2. アミロイドβの分解に関する研究に関心のある方
3. VRを活用したアルツハイマー病の超早期発見に関心のある方
4. 産、学、官の技術者との人脈を形成したい方
5. 科学技術交流財団のイベントに興味のある方

申込期間

2024年1月15日 (月) ~ 2024年2月5日 (月)

申込方法

Webからお申込みください

下記サイトにアクセスし、必要項目を記入してください。  
また、右記二次元コードからもアクセスできます。

【URL】

<https://smoothcontact.jp/front/output/7f0000016489d11f75529270fd62d9>



開催場所

科学技術交流財団研究交流センター  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 ウィンクあいち15階  
[アクセス | ウィンクあいち \(愛知県産業労働センター\) \(winc-aichi.jp\)](#)

定員

会場30名、オンライン (ZOOM) 200名

主催

公益財団法人科学技術交流財団  
公益財団法人日比科学技術振興財団

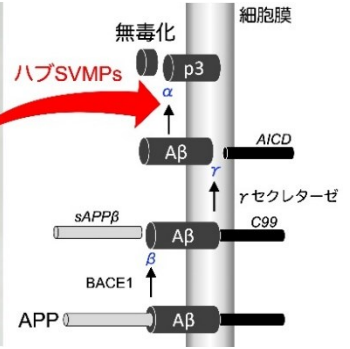
14:00~14:05 開会

14:05~15:10 「ハブ毒でアミロイドβを分解」



東北大学 大学院農学研究科 准教授  
二井 勇人 (ふたい ゆうじん) 氏

ハブが進化の過程で獲得した、蛇毒メタロプロテアーゼ (snake venom metalloproteinases, SVMPs) というタンパク質分解酵素が、アルツハイマー病の原因とされるアミロイドβを効率的に分解できる可能性があり、医療利用に期待が持てることを発見した。



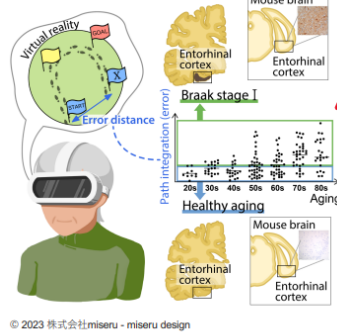
15:15~16:20 「VRゴーグルによる脳機能測定を活用したアルツハイマー病の早期発見」



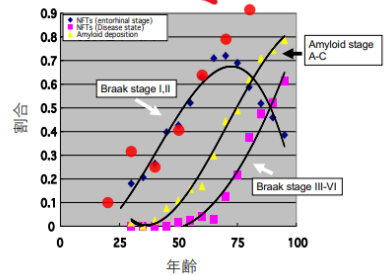
学習院大学 理学部 生命科学科 教授  
MIG株式会社取締役チーフサイエンスオフィサー  
高島 明彦 (たかしま あきひこ) 氏

2014年のノーベル医学・生理学賞 (脳の場所細胞の発見) を活用、さらに近年大幅に進化したVR技術を駆使し、人間の空間認識能力からアルツハイマー病の超早期発見 (MCI発症前) につなげる活動を開始した。

VR-ゴーグルによるアルツハイマー病超早期検出



経路統合が低下した人の割合



16:20~ 閉会

ZOOMの配信は16:20で終了です。  
会場での参加の皆様は、名刺交換を終わられた方から気を付けてお帰りください。

注意事項

参加票は締切後 1 週間以内にメールにてお送りしますので、当日お持ちください。  
参加申込者多数の場合は抽選となります。  
抽選結果は申込締切後、1 週間以内を目途に、申込された方へメールでお知らせします。

お問合せ先

公益財団法人 科学技術交流財団 研究交流クラブ (担当: 戸館)  
電話: 0561-76-8325 メール: club@astf.or.jp